

令和7年太宰府市議会第4回（11月）定例会 議事日程

《第3日》

令和7年11月18日（火）午前10時開議

日 程 第 1	再 開 宣 告	(下記、一般質問者及び質問項目一覧表のとおり) 記
	一 般 質 問	
	散 会 宣 告	

一般質問者及び質問項目一覧表

順位	質問者 【議席番号】	質問項目
1	神 武 綾 【13】	<p>1 子どもの居場所について 子どもの居場所づくり事業が多彩に展開されているが、児童福祉施設である児童館の増設が必要と考え3点伺う。</p> <p>(1) 市内の子どもの居場所の運営状況とその効果について (2) 市内唯一の児童館である南児童館の設置目的と利用状況について (3) 子どもだけの意思で利用できる児童館開設について</p> <p>2 指定管理者制度について 現在進行中の史跡水辺公園（市民プール）、総合体育館の公募による指定管理者候補者選定について3点伺う。</p> <p>(1) 議会への指定管理者指定に関する議案提出と関連するスケジュールについて (2) 募集要項に反映させる民間事業者への意見聴取について (3) 選定基準として、指定管理者に具体的かつ明確に求めているものは何か。</p>
2	馬 場 礼 子 【2】	<p>1 高齢者の「食支援」充実に向けた配食サービスの拡充について 五条のジョイント太宰府店が11月末で閉店となるなど、市内の主に食料品を販売する商業施設が少なくなってきた現状がある。また、買い物に行く移動手段も限られていることから、加齢に伴い夕食の準備が困難になる高齢者も増加していると思われる。特に独居高齢者の増加を踏まえると、今後「食の確保」は健康維持や生活支援の面からも重要であり、配食サービスの拡充は急務と考える。</p> <p>そこで、本市の配食サービスの現状、課題、利用促進策、今後のICT活用や地域連携による多機能型サービス展開の可能性について、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 配食サービスの現状について ①現在の実施状況（利用者数・対象条件・開始時期） ②配食サービス導入の目的や位置付け（安否確認、健康維持、地域連携等）についての市の認識は。</p>

2	馬場 礼子 【2】	<p>(2) 利用者数が伸び悩む原因と市の認識について</p> <p>①利用者数が伸び悩む背景にはどのような要因があると考えているか。</p> <p>②市としての課題認識や、改善・利用促進に向けた取り組みの方向性について</p> <p>(3) 利用促進に向けた施策について</p> <p>①利用しやすい価格設定に向けた補助拡大の検討について</p> <p>②利用者が複数の業者から選択できる選択型サービスの検討について</p> <p>③I C T活用による配達記録や健康状態の共有など「見える化」の取組状況・方向性について</p>
3	徳永 洋介 【8】	<p>1 本市の道路整備計画について</p> <p>(1) 市道宮脇・土居線の整備計画について</p> <p>令和元年9月、令和3年9月にも一般質問を行ったが、本路線は吉松三丁目から大野城市への抜け道として車両の往来が激しいにもかかわらず、幅員が狭いため離合に苦慮し、しばしばトラブルも発生している状況である。</p> <p>当時の回答では関係機関と協議を行い、通行しやすくなる方策について検討を行うということであった。そこで、その後の進捗及びこの路線拡幅にあたっての課題と今後の整備方針について伺う。</p> <p>(2) 土居踏切、中道踏切の整備計画について</p> <p>令和元年9月、令和4年3月にも一般質問を行った土居踏切及び中道踏切はどちらも道幅が狭く離合が困難な踏切である。両踏切の整備計画の現状と方向性について改めて伺う。</p> <p>2 企業版ふるさと納税について</p> <p>(1) 本市の「企業版ふるさと納税」政策推進の基本方針について伺う。</p> <p>(2) 寄附活用事業に係るチェック機能の強化や活用状況の透明化等のための見直しについて検討しているか伺う。</p>
4	長谷川 公成 【16】	<p>1 楠田市政2期8年における高齢者支援策について</p> <p>楠田市政2期8年の中で子育て支援策は充分行われてきたように思えるが、高齢者支援策はどのような施策を行なってきたのか伺う。</p> <p>2 本市の教育施策について</p> <p>(1) 不登校児童生徒が全国的に増加傾向にあるが不登校になる前の対策が必要だと考える。そこで本市の不登校防止策について伺う。</p> <p>(2) 本市のコミュニティ・スクールについては地域との連携が必要不可欠と考えるが、知るところでは学校側が地域に対して一方的な押し付けを行っており、地域との連携は全く感じられない。教育委員会は学校側からどのような報告を受けているのか伺う。</p> <p>3 民泊について</p> <p>民泊施設の宿泊者と地域住民との間でトラブルになっている地域がある。</p> <p>民泊施設を認可する際には民泊業者から地域住民へ理解、納得できる事前説明会が必要だと考えるが見解を伺う。</p>

5	原田 久美子 【12】	<p>1 西鉄路線バス星ヶ丘線の乗合ジャンボタクシー運行について 西鉄路線バス星ヶ丘線についてはこれまで幾度となく質問、提言してきた。今年10月1日からは慢性的な運転士不足等の理由により減便され、路線バスの運行がない時間帯で定員8名の乗合ジャンボタクシーが運行されている。そこで3点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月1日から1ヶ月の乗車人数について (2) 交通系ICカードが使えないため、現金での支払いとなるが、利用者からはどのような声が寄せられているか。また、障がい者手帳を持つ方の運賃割引はいくらか伺う。 (3) 乗客が定員に達していたため、乗車できなかつた利用者がいたと聞いた。乗車できなかつた場合の対応について、どのような対策を考えているのか伺う。 <p>2 災害時の障がい児の居場所について 本市では福祉避難所として6箇所が指定されているが、それだけではなく、子どものための福祉避難所を行政、学校、地域が議論を深め協定を締結すべきと考えるが市の考えを伺う。</p> <p>3 水質調査について 私たちの生活に欠かせない井戸水や水道水は安心安全のために検査が行われている。水質調査に関して2点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 井戸水、水道水も含め、定期的に水質調査が行われている場所について、また、調査は年に何回実施されているのか。 (2) 一般家庭で使用する水から異臭がしたり、サビのような水が出た場合、市に水質調査を依頼することはできるのか。 <p>4 遺族年金制度について 遺族年金は亡くなった被保険者によって生計を維持されていた配偶者や子などの遺族に支給される年金である。厚生年金の場合だと、厚生年金加入者が亡くなった場合、遺族厚生年金は配偶者に支給されるが、女性が亡くなった場合、死別時の男性配偶者の年齢によっては支給されない仕組みになっている。これは男女平等の観点から問題があると考え2点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 配偶者とは誰を指すのか。 (2) 生計を維持している妻が亡くなった際、夫の年齢によっては遺族厚生年金が支給されない仕組みになっているが男女平等の観点から市の考えを伺う。
6	橋 本 健 【17】	<p>1 計画的なまちづくりの推進について 長期的な視点に立ち都市計画などのルールを定めて、土地利用、市街地開発などを総合的に計画・実行し、安全で暮らしやすい魅力的なまちづくりの実現を目指すため3点伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 福岡県保健環境研究所跡地の取得について (2) 佐野東地区の区画整理について (3) (仮称) JR太宰府駅の設置について

2 NHKのど自慢の誘致について

NHKのど自慢の誘致についてこれまで何度か質問させていただいたが、何ら経過報告もない。市制施行 45 周年あるいは 50 周年記念行事として積極的に進めていただきたいが、その後の進捗状況について伺う。